

2 学力向上アクションプラン

横浜市立下野庭小学校 令和2年度 学力向上アクションプラン

1 中期学校経営方針

(1) 学校教育目標と教育課程全体で育成を目指す資質・能力

学校教育目標	教育課程全体で育成を目指す資質・能力
「輝くひとみ 仲間とのびる 下野庭の子」 ～ 課題をつかみ 自分なりに創造（つくる・あらわす）することができる子 自分の気づきや考えたことから生まれた思いや願いを 相手を意識して伝えることができる子の育成～ ○ めあてをもって、ねばり強く取り組んでいこうとする子を育てます【知】 ○ 生命を大切にし、自分のよいところを知り、伸ばそうとする子を育てます【徳】 ○ 自らの生活を見つめ、健康な心と体をつくろうとする子を育てます【体】 ○ できることをすすんでやり、みんなの役に立とうとする子を育てます【公】 ○ 互いを認め合い、人や地域とよりよくなかかわろうとする子を育てます【開】	「自分づくりに関する力」 自己実現を図る力 共感・協働的な人との関わりをつくる力 言語活動の充実

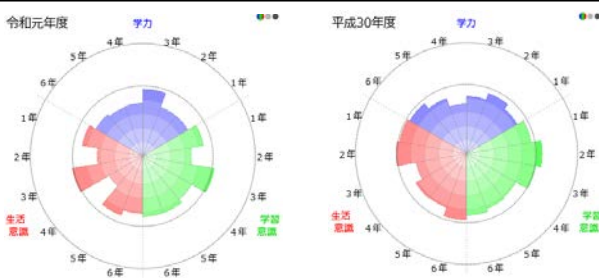
(2) 中期取組目標

中期取組目標
○学校教育目標の実現に向けて、全職員が学校経営に積極的に参加し、活気にあふれた学校づくりを推進します。 ・子どもたちが学習の楽しさを実感できる授業づくりを進め、学力向上を図ります。 ・一人ひとりの子どもが自分のよさに気づき、安心して過ごせる居場所づくりに努めるとともにチームとして子どもたちを育てます。 ・自分の体力に目を向け、改善していく大切さに気づき、より力を高めていこうとする子を育てます。 ・学校・保護者・地域と連携し、信頼される学校づくりを進めます。

(3) 学力向上に向けた重点取組分野・具体的取組

重点取組分野	具体的取組
確かな学力	①ねらいを明確にした授業づくりに努め、対話的な学びを効果的に取り入れたり、ワークシートの開発・板書や教具活用の工夫等を行ったりし、わかる授業を実践していく。 ②少人数指導や教科担任制を効果的に生かし、一人ひとりに寄り添った支援をする。
担当	教務

2 横浜市学力・学習状況調査等からの実態把握



(1) 学力の概要と要因の分析

学力は3年市が市の平均値に近く、生活意識・学習意識ともに高い。その他の学年は学習意識と学力の相関性が見られ、まず学習するという意識を高めていくことが必要である。どの学年も、上位と下位の差が大きくなってきた。また、睡眠時間の少ない児童が急激に増えたことと、パソコン等でのゲーム時間も市の平均より多いことから、家庭学習の方法についても考えていく必要がある。

(2) 教科学習の状況

- 国語科：国語への意識は、2，4年生が低くなっている。全体で見ると、「読む」が高く、2，4年は「知識」が高くなっている。読書活動と、漢字等知識の定着を継続して行っていく。
- 算数科：算数への意識は、どの学年も大きく変わらない。どの学年も「数学的な考え方」の到達度が比較的高いので、基礎・基本の定着を図り知識を高めていく。
- 社会科：6年を除き、学習への意識が高い教科である。技能は身につけてきているので、今後は資料を活用して読み取ったことを知識としてまとめるなどして定着を図っていく。
- 理科：実験など意欲的に行い、それが「技能」につながっている。実験等の「課題・予想・実験・考察」の流れを確実にし、今後は、知識の定着に結び付くような支援をする。

3 令和2年度 学年・教科等として育成を目指す具体的な資質・能力と具体的取組

	育成を目指す 具体化した資質・能力	具体的取組	
		前期	後期
1年	◆感じたことを言葉にする力	○地域や幼稚園、保育園等との交流・友達との関わりを通して、人とつながる場面を計画的に位置付ける。	○子どもたちの先行経験や気づきを適切に捉えて支援することで、自分のこととして課題に向かえるようにする。
2年	◆自分なりのイメージをもつ力	○学習全般を通して、人や物との関わりの中で、自分の思いや考えをもつことのできる場面を位置づける。	○豊かな体験活動を設定することによって、自分の言葉で相手に伝えようとする意欲を高める。
3年	◆伝える内容を明確にする力	○課題をしっかりと理解する時間をとり、学習に見通しをもってから課題に取り組めるようにする。	○学習全般を通して、友達との関わりの中で、自分の思いや考えを伝え合う場面を位置付ける。その際、安心して話せるように、場の設定を工夫し、伝えようとする意欲を高める。
4年	◆思いや考えを表現する力	○話の中心に気を付けて聞いたり、自分の考えをはっきり話したりする活動を充実させていく。	○自他の考えの相違点や共通点に気づき、よりよい考えに高めていけるような話し合いをする。
5年	◆伝え合うことで自分の考えを深化させる力	○総合的な学習の時間等で様々な年齢や立場の人と話す機会を設定し、言葉を選び、会話の内容を相手に合わせるようにする。	○話し合い前後に自らの考えを書き出すことを通して、自分の思いや考えを、自信をもって伝え、相手に理解してもらおうという体験を通して、伝え合うことの意義や喜びを感じることができるようになる。
6年	◆思いや考えを伝え合う力	○学習のめあてを意識し、それに沿った話し合いができるようにする。	○友達の見解と自分の見解を比べながら分かりやすく伝えられるようにする。
個別支援学級	◆伝えたいという思いをもつ力	○相手意識をもって話したり聞いたりできるような場を設定し、伝えようという思いがもてるようにする。	○思いを伝えたいという意識がもてる活動を設定し、体験を通して伝えようとする意欲を高める。
	◆自分なりの方法で伝えようとする力	○様々な表現方法を提示したり、よりよい表現方法を具体的に示したりすることで、伝えようとする意欲をもつ。	○友達との関わりの中で、相手意識をもって話したり聞いたりする体験を積むことで、伝えようとする意欲を高める。